

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公表番号】特表2016-508987(P2016-508987A)

【公表日】平成28年3月24日(2016.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-018

【出願番号】特願2015-551117(P2015-551117)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/66 G

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 K 9/72 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月26日(2016.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者の骨における癌および／または骨における癌がある被験者の骨痛を治療するための、抗癌活性を有し、SEQ ID NO:1のアミノ酸配列を含む有効量のインターフェロンを含む組成物。

【請求項2】

被験者の皮膚癌、皮下腫瘍、粘膜癌および／または粘膜下腫瘍および／または被験者の癌と相関する疼痛を治療するための、抗癌活性を有し、SEQ ID NO:1のアミノ酸配列を含む有効量のインターフェロンを含む組成物。

【請求項3】

前記骨における癌は原発性骨ガンまたは原発性腫瘍から転移してきた二次骨ガンである、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、局部投薬による前記インターフェロンの投与を含む、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項5】

前記インターフェロンの局所投薬は、浸潤投薬、経皮投薬、透皮投薬、表皮投薬および粘膜投薬の少なくとも一種を含む、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、前記インターフェロンを、被験者の骨、皮膚、粘膜、及び/又は粘膜下に投与する、又は被験者の骨、皮膚、粘膜、及び/又は粘膜下の上に投与することを含み、前記インターフェロンの濃度が約0.01 mg/mlから約5 mg/mlである、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

前記インターフェロンの局所投薬は、噴霧による投薬を含む、請求項4～6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

前記インターフェロンの局所投薬は、約2 µgから約2100 µgのインターフェロンの投与を含む、請求項4～7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項9】

噴霧による前記インターフェロンの投与は、1回約6 µgから約100 µgの量で前記インターフェロンを噴霧投薬することを含む、請求項7に記載の組成物。

【請求項10】

局所投与のための前記インターフェロンが、乾粉、水溶液、クリーム剤、膜浸透又は拡散薬物デリバリー系統、制御放出薬物デリバリー系統、密封薬物デリバリー系統、透皮貼付剤、又は皮膚下に注射されるインターフェロンを含んで徐放効果を奏するリザーバー型製剤の少なくとも一種に調製されている、請求項4～9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項11】

前記インターフェロンは、ナノ粒子、ミクロン粒子、微小球、リボソーム又は制御放出される単一又は複合材料に調製されたものを含む、請求項4～9のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

前記被験者へのインターフェロンの投与は、さらに全身投薬および/または吸入投薬による前記インターフェロンの投与を含む、請求項1～11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

さらに、前記被験者に少なくとも一種の他の抗癌療法を与えることを含む、請求項1～12のいずれか一項に記載の組成物であって、前記インターフェロンを投与する前、おおよそ同時及び/又はその後、前記被験者に少なくとも一種の他の抗癌療法を与える、組成物。

【請求項14】

少なくとも一種の他の抗癌療法は、化学療法、放射線療法、手術療法、介入療法、生物学的療法、標的療法と漢方薬療法の少なくとも一種を含む、請求項13に記載の組成物。

【請求項15】

前記生物学的療法は、遺伝子治療と免疫治療の少なくとも一種を含み、前記手術療法はアブレーション療法を含む、請求項14に記載の組成物。